

令和元年9月24日

行政視察活動記録

総務常任委員会

委員長 多田 泰宏

年月日	令和元年8月20日（火）から21日（水）まで
場所 及び目的	東京都新宿区 ・学校等跡地施設の利活用について 埼玉県越谷市 ・防災対策について （消防団員の確保策及び学生機能別消防団員について）

年月日	令和元年8月20日（火）
相手方 及び目的	四谷ひろば（東京都新宿区） ・学校等跡地施設の利活用について
内容・ 結果等	<p>1日目は、学校等跡地施設の利活用を目的に東京都新宿区の四谷ひろばを視察研修した。</p> <p>『四谷ひろば』とは、新宿区立四谷第四小学校跡地を利用し、地域住民中心のボランティアなどにより自主管理、自主運営される「地域ひろば」と、NPO法人市民の芸術活動推進委員会が運営する「CCAAアートプラザ」、NPO法人芸術と遊び創造協会が運営する「東京おもちゃ美術館」の3団体が協働で運営している施設である。</p> <p>①地域ひろば 子どもから大人までみんなが集えるひろばを目指し、世代を超えた交流の場、地域住民による地域貢献活動の場、地域の文化の発信拠点をテーマに地域団体や官公庁と連携をとり、地域行事の企画、運営を行うほか、施設の貸出事業を展開している。</p> <p>②東京おもちゃ美術館 「NPO法人芸術と遊び創造協会」が運営する美術館であり、館内には9つの個性ある展示室とギャラリーショップがあり、魅力的な世界のおもちゃ、優しさあふれる木のおもちゃ、昔懐かしいおもちゃを実際に手にとって遊べ、子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、世代を超えて楽しめる美術館である。</p> <p>③CCAAアートプラザ 「NPO法人市民の芸術活動推進委員会」が運営する美術館であり、区民を対象とした芸術活動の拠点として、展示スペースの貸し出しや親子向けの手作り講座等を実施している。</p>

今回の視察研修では、学校等の跡地施設を地域ボランティアだけで管理運営していくのは難しい問題（ボランティアの集め方、施設の維持管理方法、鍵の貸し出し管理等）がたくさん有り、やはり民間企業及び行政の支援が必要不可欠であると感じた。

現在、さぬき市でも学校再編後、地域から活用したいとの要望が出されているにもかかわらず結論に至らず、いまだ活用されていない施設や跡地もある。新宿区のように閉校する前の段階から、学校施設や跡地の利用について地域住民や保護者らの意見・要望を聞きながら検討していく仕組みづくりも必要と認識した。今後、具体的な跡地利活用の推進方法について調査研究を進めていきたい。

内容・
結果等



備 考

(参加者) 総務常任委員会委員 6名、危機管理課 1名
財産活用課 1名、議会事務局 1名 計 9名

年 月 日	令和元年 8 月 2 1 日 (水)
相 手 方 及び目的	埼玉県越谷市 ・防災対策について (消防団員の確保策及び学生機能別消防団員について)
内容・ 結果等	<p>2 日目は、防災対策について（消防団員の確保策及び学生機能別団員について）を目的に埼玉県越谷市消防本部を視察研修した。</p> <p>越谷市は、埼玉県の東南部に位置し、東京都心から北へ 2 5 k m の地点にあり、首都圏の衛星都市的性格を有していた。</p> <p>市政施工時（昭和 3 3 年 1 1 月）の人口は、わずか 4 万 8 千人余りであったが、昭和 3 7 年の地下鉄日比谷線と東武鉄道の相互乗り入れ、さらに、昭和 4 8 年に武蔵野線の開通によって都心への通勤時間が 1 時間以内という交通の便に恵まれ、社会的にも経済的にもその影響を受け、人口は急激な増加を続けていた。</p> <p>昭和 3 1 年 4 月 1 日現在の人口は、3 4 万 3 , 3 8 3 人となり市政施行時の約 7 倍に増加していた。</p> <p>平成 2 7 年 4 月 1 日には、全国で 4 5 番目、埼玉県内で 2 番目となる中核市に移行した。</p> <p>今回、越谷市消防団を視察研修先に決めた理由は、越谷市の学生機能別団員を設置した取り組みが、地域住民の安全保持や消防団員の確保につながる全国でも模範的な事業であるとして高く評価され、平成 3 0 年度消防団等地域活動表彰の受賞団体 2 1 消防団の一つとして選ばれたことを受けその取り組み方を学ぶために研修先に決めた。</p> <p>学生機能別団員創設の経緯であるが、近年竜巻、台風による大規模災害が頻発し、大規模災害時のマンパワーの必要性を大きく感じ、大規模災害時の対応など特定の活動を行う「機能別団員」の設置を検討することとなった。</p> <p>そこで、地域防災の将来を担う若い世代に焦点を絞り、「学業につきながら消防団活動ができる」環境作りに取り組むことにし、越谷市内の 2 大学と協議を重ね、平成 3 0 年 4 月 1 日付けで、大規模災害時に避難所での避難者支援等を主たる任務とし、学生で構成する機能別団員である「学生機能別団員」を設置した。</p> <p>学生機能別団員の定員は 3 0 人、市内の大学に在籍する学生もしくは市外の大学等に在籍し、市内に在住する学生を入団要件とし、身分は非常勤特別職の地方公務員、報酬は年額 1 人 1 万円、1 日の活動につき 1 人 2 , 5 0 0 円を費用弁償として支給していた。</p> <p>退職報奨金は無く、公務災害補償は適用され、安全ベスト、アポロキャップ、保安帽等が貸与されていた。</p> <p>学生機能別団員の活動内容は、大規模災害時には指定避難所における運営の補助活動、平常時には防災訓練、火災予防、消防団行事イベント P R 及び特別点検などとなっている。</p>

今回の研修では、大規模災害時にはとにかくマンパワーが必要であり、そのマンパワーの確保の為にできる事だけを部分的に請け負ってもらう事で個人の負担を軽減する機能別団員の有用性、常に大規模災害を想定した訓練を行う事が大切であると学んだ。

消防団の充実強化の取り組みは、基本団員の確保とともに機能別消防団員として、学生消防団員・事業所消防団員・郵政消防団員や女性消防団員の確保に積極的に取り組む自治体が増加している。

様々な選択肢を提供し、防災に関わる人々を増やすという観点から、特定の活動や役割に限定した機能別団員・分団制度には大きな可能性があり、消防団が今以上に機動力のある体制づくりをすることが重要であると考えます。

備えあれば憂いなし、その言葉を胸にさぬき市の防災計画を考えていきたい。

内容・
結果等



備 考

(参加者) 総務常任委員会委員 6名、危機管理課 1名
財産活用課 1名 議会事務局 1名 計 9名